

競 技 注 意 事 項

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。**補助競技場での道具（マーカー、ミニハードル、ラダー、メディシングボール）を使用した練習はできません。**砲丸投の練習は、係員の指示に従って補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う。使用の際は係員の指示によって行う。

補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
 - ・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
 - ・ブロックを使用時のスタート練習は多目的広場側直走路7～10レーンのみとする。
 - ・多目的広場側直走路7・8レーンは中学女子100mH、9・10レーンは中学男子110mHとする。
- ※リレーの練習は用具倉庫前第2コーナー付近を利用して行うこと。第4コーナー付近でのリレー練習は行ってはならない。

雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、やり投は12mm以下とする。

3 アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・走幅跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横やや後方につけること。

4 大会受付について

大会受付はメイン競技場下南エントランスとする。
※大会申込に関するの問い合わせは大会受付にて行うこと。

5 選手招集について

- ①選手招集場所は第4ゲート付近とする。（※小学生を優先するため。）
- ②招集時刻は競技時間を確認すること。
※参加人数の多い種目については、段階的に招集を行うので、競技時間に記載している招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。
- ③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④リレーのオーダー表は招集完了時刻の1時間前までに提出のこと。
- ⑤2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。
※小学生で、複数種目（100mと走幅跳の両方）に参加する選手はタイムテーブルの都合上、前の競技終了時間と次の競技の招集開始時刻の間が少ない場合がある。引率の方は時間の確認を十分に行ってください。

6 競技について

- ① 競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ② その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③ トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ④ スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑤ 小学生のスタートコールは、1～4年生は日本語コール、5・6年生はイングリッシュコールとする。
- ⑥ 小学生のスタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。スタートは同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
- ⑦ 短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑧ レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑨ 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- ⑩ 跳躍・投てき競技の試技回数は、小学生・中学・高校・一般ともに試技3回とする。
- ⑪ 選手は、携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技エリア内に持ち込むことはできない。コーチエリア付近（エリア指定あり）で選手に手渡して映像を見せることができる。選手が指定エリア外に機器等を持ち込むことはできない。なお、メインスタンドから撮影機器を手渡しすることは禁止とする。コーチエリアでのコミュニケーションが終了したら、速やかにコーチエリアから出ること。

7 競技用具について

- ① 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。
- ② 練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

8 その他

- ① やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ② 応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③ 更衣室はメインスタンド下更衣室を利用してもよい。
- ④ 記録は、記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。
- ⑤ プログラム配布は競技場内、南エントランスの大会受付にて行います。